

■■受験対策ミニ講座 13号■

12月に入るとなんとなくあわただしくなりますが、マイペースを守り、心静かに学習を続けていきましょう。

今回の科目の「社会調査」は社会資源の開発をする時のニーズの分析にも使われ、福祉政策を作成する上でも欠かせないものです。難解な専門用語もありますが科目名のとおり、「社会調査の基礎」となる知識を固め、倫理、情報管理に関しては「社会福祉士の倫理綱領」に立ち戻って考えると、確実に得点できる科目となります。

第13問《社会調査の基礎》—————

〔28回88〕グループインタビューに関する次の記述のうち、最も適切なものを選び。

- 1 対象者の選定は、有意標本抽出によって行われることが多い。
- 2 参加者間の相互作用が起らないように、司会者が気をつける。
- 3 記録係は、参加者の非言語的反応について記録する必要はない。
- 4 一度に参加する人数は、多いほど良い。
- 5 質問は、参加者が明確に回答できるように選択式を基本とする。

■Plus Column

【I am a social worker.】

フィリピンの首都マニラでタクシーに乗った時の事。ドライバーに「仕事は何？」と聞かれ、社会福祉士の資格を取得したばかりだった私は思わず「I am a social worker.」と言ってしまいました。畳み掛けるように「マザーテレサを知っているか？」と聞くので、単純に「Yes I do.」と答えました。 . . . 私はテレサを知っているけど、テレサの方は私を知らないと思うのだけれど . . . ドライバーは真剣な表情になり、「私たちの国にはスラムがある。外国人には見せたくないが、あなたがソーシャルワーカーならば、ぜひ見て行って欲しい」と言い、車は目的地を迂回してスラム街に到着しました。

「車から離れないこと、カメラを向けないこと」を条件に案内された場所は、廃棄物が積み上げられてできた小高い丘でした。周囲に立ち並ぶ粗末なバラック小屋には洗濯物がひるがえっていて、人々の日常の生活があることがわかります。廃棄物の中から売れる物を拾い集めている裸足の子どもたちの姿に、ソーシャルワーカーに期待されていることの重みを、ひしひしと感じさせられました。

あれから20年以上がたち、「私は期待されたようなソーシャルワーカーになっているだろうか」と自問自答する日々です。皆さんにはぜひ、グローバルな視野をもって積極的に活動する social worker となって頂きたいと心から願っています。

〔28回88〕の正解と解説—————

グループインタビューに関して正しいのは1。

グループインタビューは参加者の相互作用を生かして、自由に話をしてもらい、多くの情報を引き出すことに特徴があります。

1○

対象者の選定は、有意標本抽出によって行われる場合が多い

2×

参加者間の相互作用が起らないように、司会者が気をつける。

司会者には参加者の相互作用によって様々な意見が交わされるような進行為が求められます。

3×

記録係は、参加者の非言語的反応について記録する必要はない。

身振りや表情などの、非言語的反応についても記録することは、とても重要です。

4×

一度に参加する人数は、多いほど良い。

多いほど良いとは言えません。一般には数名程度を対象とします。

5×

質問は、参加者が明確に回答できるように選択式を基本とする。

グループインタビューは質的調査のひとつであり、選択式は基本ではありません。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19KDX 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus

発行者： 公益財団法人 日本知的障害者福祉協会